



国民春闘共闘

2023年度 第14号
2023年3月21日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23 国民春闘共闘賃上げ第2回集計

単純平均 6,347 円、加重平均 5,804 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は3月16日、第2回目の23春闘賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2023年	2022年同期
回答引き出し組合	433	454
うち 有額回答	294(67.9%)	285(62.8%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	139(32.1%)	169(32.2%)
うち 2次回答以上の回答	24(5.5%)	27(6.0%)
うち 妥結組合	46(10.6%)	37(8.1%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2023年要求	2023年回答	2022年同期	同期比
単純平均	額(円)	31,595	6,347	5,567	+780
	率(%)	11.10	2.36	2.08	+0.28
加重平均	額(円)		5,804	5,165	+639
	率(%)		2.02	1.91	+0.11
	組合員数		39,671	50,348	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	23年回答	22年実績	実績比
単純平均	額(円)	260	180(69.2%)	6,405	5,480	+925
	率(%)	159	99(62.3%)	2.34	2.00	+0.33

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	33.6 (23.2)	4,274 (3,800)	33.7 (31.6)	2,335 (3,828)
	率(%)	1.87 (2.67)	3.19 (1.66)	3.16 (2.24)	1.43 (2.73)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

3月16日の第2回集計には、19単産・部会から報告が寄せられ、433組合が回答を引き出しています。そのうち金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得たのは294組合(67.9%)で、139組合(32.1%)は「定昇確保」などの言葉による回答となっています。現時点で46組合(10.6%)が妥結しています。

回答内容

有額回答を引き出した294組合での単純平均(一組合あたりの平均)は6,347円・2.36%となっています。前回調査(3月9日:6,395円・2.49%)から48円・0.13%下がりましたが、前年同期(2023年3月17日:5,567円・2.08%)を780円・0.28%上回っています。

加重平均(組合員一人あたりの平均)は5,804円・2.02%で、前回調査(5,645円・2.07%)から金額では159円増、率では0.05%減となっています。前年同期比(5,165円・1.91%)では639円増・0.11%増とわずかに上回っています。

前年実績と金額で比較可能な260組合の単純平均額を見ると今期は6,405円で前年実績5,480円を925円上回っています。賃上げ率で見ると159組合の単純平均で2.34%と前年実績(2.00%)を0.33% (小数第三位以下四捨五入)上回りました。前年実績額以上の回答を引き出した組合は額で180組合(69.2%)、率では99組合62.3%となっています。

ベースアップ(ベア相当分含む)の獲得が確認できているのは128組合となっています。

JMITUの組合が初回回答から4,200円・1.37%上積みの3次回答を引き出すなど、これまでに24組合が2次回答以上の上積み回答を引き出しています。

回答の最高額・率はJMITUの組合での20,265円・8.9%で、出版労連の組合で20,220円・3.6%、民放労連で19,000円・7.5%などを引き出しています。

金額が明らかとなっている291組合のうち、JMITU(19)、出版労連(16)、全印総連(8)、化学一般労連(4)、日本医労連(3)、民放労連(2)、建交労・運輸(2)での計54組合が1万円以上の回答となっています。引上げ率では190組合のうち、3%以上となっているのは39組合です。

産業別に見ると、第1回集計と同様に、製造業(加重平均8,079円・2.69%、加重平均前年同期比+1,668円・+0.53%)、マスコミ関係業(同9,230円・2.73%、同+1,256円・+0.37%)となっていますが、その他の運輸・通信、卸売・小売、医療、社会福祉・介護分野では厳しい回答状況となっています。とりわけ、医療、社会福祉・介護分野では、22春闘で政府に出させた処遇改善交付金が手当支給にとどまってきた分が基本給のベースアップに振り分けられていないことが伺える状況となっています。

規模別では、現時点では大規模での回答が卸売・小売、医療、社会福祉・介護に集中していることもあり、中小規模での賃上げが上回っています。

初回回答で7,500円のベースアップを勝ち取り、交渉を進め上積みを獲得しながらも、生活改善に見合わないたたかいを継続している組合もあります。要求に見合う賃金引上げ・ベースアップの再回答を求めて粘り強くたたかいを進めていきましょう。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の 6 単産 90 組合から前年同期（137 件）を上回る 203 件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者では 137 件の獲得報告が寄せられ、引き上げ額が判明している 107 件の単純平均額は 33.6 円で前回調査（32.5 円）から 1.1 円増とわずかに上がりました。率では 16 件平均 1.87%です。前年実績額と金額で比較可能な組合での単純平均額を見ると、今期は 28.5 円で前年実績比+8.1 円となっています。

月額制労働者では 29 件の獲得となっており、引き上げ額は 27 件平均 4,274 円、率では 9 件平均で 3.19%となっています。

再雇用者の賃上げ状況は時給制で 21 件、月給制で 13 件の獲得報告となっています。時給制では 20 件平均 33.5 円、6 件平均 3.16%。月給制では 11 件平均 2,335 円、7 件平均 1.43%となっています。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の獲得状況では、化学一般労連、生協労連、全印総連、出版労連、日本医労連の 37 組合から 79 件（前年同期 18 組合 65 件）の獲得報告が寄せられました。

時間額では 42 件の報告で新協定額の単純平均は 1,028 円となっています。引上げ額の報告があった 22 件での単純平均は 35.3 円・3.63%で、パートやアルバイトなど非正規で働く仲間の賃上げ状況と同水準となっており、昨年 10 月の地域別最低賃金引上げ並みの水準にとどまっています。日額改定は 12 件の獲得で新協定は単純平均 8,343 円、月額改定は 14 件で 175,688 円となっています。

職種別では、日本医労連から看護師とヘルパーの獲得報告が寄せられています。看護師では単純平均で時間額 1,244 円、日額 8,571 円、月額 198,800 円となっています。

企業内最低賃金協定の改定状況

第 2 回賃上げ集計に合わせて、要求提出状況、ストライキ権の確立・実施状況などについて調査する第 1 回進ちょく状況調査を実施しました。3 月 16 日現在、別表の 15 単産から 2,244 組合（交渉単位）分の報告が寄せられています。

1,032 組合で要求提出が行われ、提出率は 46.0%となっています。前年同期（2022 年 3 月 17 日：951 組合・45.1%）から 81 組合・0.9 割増えています。

ストライキ権は 1,209 組合が確立しており、調査中の 2 単産を除く 2,128 組合に対して 56.8%となっています。建交労、検数労連、全損保、映演労連、郵政ユニオンが全組合で確立し、福祉保育労 81.3%、JMITU63.8%と続いています。

回答集中日翌日、3 月 9 日の全国統一行動日を中心に前年を大きく上回る 160 組合がストライキに立ち上がりました。JMITU では 60 支部・分会がストライキに決起、16 日の第 2 次統一行動日にも 16 支部・分会がストライキを行っています。

医療や福祉職場でも多くの仲間がストライキに臨みました。全医労が 127 支部で 31 年ぶりとなるストライキ行動を展開するなど、日本医労連では 51 組合（前年 44 組合）が実施しています（全医労のような全国組合など、統一交渉を行っている組合は 1 組合として集計）。

福祉保育労でも大阪 15 職場など 33 組合（前年 7 組合）がストライキに決起しました。